

| 所員

〔専任教員〕

細川 周平 HOSOKAWA Syuhei

役職：所長

専門：日本音楽史

藤田 隆則 FUJITA Takanori

役職：教授

専門：民族音楽学

竹内 有一 TAKEUCHI Yuuichi

役職：教授

専門：日本音楽史・近世邦楽

武内 恵美子 TAKENOUCHE Emiko

役職：准教授

専門：音楽学・日本音楽史・音楽思想史

田鍬 智志 TAKWA Satoshi

役職：准教授

専門：日本音楽史・民俗芸能

齋藤 桂 SAITO Kei

役職：講師

専門：音楽学・日本音楽史

〔客員教授〕

金剛 永謹

〔非常勤講師〕

竹内 直 TAKEUCHI Nao

担当：特別研究員

専門：現代音楽論・日本近代洋楽史

根本 千聡 NEMOTO Chisato

担当：特別研究員

専門：音楽学・日本音楽史

光平 有希 MITSUHIRA Yuki

担当：特別研究員

専門：日本音楽史・音楽療法

東 正子 HIGASHI Masako

担当：情報管理員

専門：デジタルコンテンツ制作、ネットワーク管理

〔非常勤嘱託員〕

齊藤 尚 SAITO Hisashi

担当：学芸員・司書

森 万由美 MORI Mayumi

担当：司書

〔異動のお知らせ〕

2024年3月、退職

竹内 直（特別研究員）

2022年4月より新任

鈴木 堅弘（特別研究員）

〔客員研究員〕

上野 正章 UENO Masaaki

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：1. 日本伝統音楽研究センターにおけるプロジェクト研究及び共同研究への参加

2. 近代日本における古典音楽の独学についての比較研究—雅楽と謡曲を中心に民間雅楽の調査

受入教員：田鍬 智志

遠藤 美奈 ENDO Mina

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：日系社会における仏教音楽（讃仏歌）の伝播と実践に関する研究

受入教員：武内恵美子

大西 秀紀 ONISHI Hidenori

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：近代日本音楽の音声資料に関する研究

受入教員：竹内有一

神津 武男 KOZU Takeo

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：人形浄瑠璃文楽の近世後期上演記録データベース更新に係る追補的資料研究

受入教員：竹内有一

高橋 葉子 TAKAHASHI Yoko

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：能の謡と囃子の歴史

受入教員：藤田隆則

多田 純一 TADA Junichi

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：近代日本における西洋音楽受容と演奏様式および形態に関する研究

受入教員：齋藤桂

出口 実紀 ● NAME Name ●

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：「白鳥拝殿踊に関する調査報告」

受入教員：田鍬 智志

丹羽 幸江 NIWA Yukie

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：世阿弥時代の能と宗教儀礼の音楽

受入教員：藤田隆則

平間 充子 HIRAMA Mitsuko

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：古代の宮廷音楽に関する日中比較—日本の内教坊の活動とレパートリーを中心に—

受入教員：武内恵美子

福本 康之 FUKUMOTO Yasuyuki

2023年4月1日～2024年3月31日

研究課題：聲明および賛美歌との関係から見る近現代日本仏教界における洋楽受容の実態

受入教員：武内恵美子

〔共同研究員〕

計 66 名（所員を除く外部研究員）。

氏名・所属先等は「活動報告 1」に掲載。

委託研究

テーマ 1：倉田喜弘氏旧蔵資料の移管作業と今後の整理に関する提言

委託先：神津武男

担当者：竹内有一

（研究の目的） 東京在住の芸能史研究家、倉田喜弘氏（故人）が所蔵した研究資料「倉田喜弘旧蔵資料」を整理分類し、そのデジタル化を行うことによって、資

料の保存と活用をはかり、学術研究に寄与するための公開準備を整えることを目的とする。

（研究対象資料） 2023年に遺族からの寄託を受け、現在は日本伝統音楽研究センターに仮置きされている資料「倉田喜弘旧蔵資料」（ダンボール約 100 箱に収納）を研究対象資料とする。その大半は、明治から昭和期の日刊新聞の切り抜きと紙焼きコピーであるとみられる。これらは、神津武男氏（本学客員研究員）の予備調査によれば、近代芸能資料として世界に類をみない質と量を誇る。それを研究資産として将来に継承し活用していくためには、整理分類とデジタル化が必須であると考え。2024年度以降、立命館大学アトリサーチセンター、神戸女子大学古典芸能研究センターと本研究センターとの三者協同による大学研究連携の一環として、原資料のデジタル化作業と保存活用を長期計画で進めていく計画を立てている。

（委託内容、委託先） 本委託研究は、研究対象資料の概要を捉えた総論となるものである。委託内容は、上記のダンボール約 100 箱の遺族からの移管作業の報告、今後の整理分類方法に関する提言、資料全体の概要を解題する調査報告書の取りまとめである。研究対象資料の学術性に注目して遺族からの移管に尽力された、神津武男氏を委託先とする。

テーマ 2：倉田喜弘氏旧蔵資料のスキャニング手法の検討と画像データ作成

委託先：小西志保

担当者：竹内有一

（研究の目的） テーマ 1 と同じ。

（研究対象資料） テーマ 1 と同じ。

（委託内容、委託先） 本委託研究は、神津武男氏による本年度委託研究に関連して、研究対象資料のデジタル化の先鋒を担うものである。委託内容は、スキャニングによる研究資料データ作成手法の検討と複数のデータサンプルの作成を経て、スキャニングによる画像データ（JPG）の作成と、データおよびフォルダの分類と命名整理である。納品する JPG データの数は、5千～1万点を目安とする。重要無形文化財常磐津節保存会の調査員として、明治～昭和期の日刊『都新聞』

の芸能記事の悉皆調査に長く関わった経験のある、小西志保氏を委託先とする。

公開講座

●第61回公開講座「順次往生講式—平安後期・鎌倉期の管絃声歌つき講式の世界—」

今回は、現在は伝承が途絶えている平安時代の真源作の「順次往生講式（じゅんしおうじょうこうしき）」を全段省略なしで再興します。講式のなかで奏でられる声歌つき雅楽は、称名寺本『楽邦歌詠』『西方楽』の両声歌譜集に収載される全曲譜を解説し、加えて同時代の雅楽楽器譜の解説と合わせて再現演奏いたします。

是非この機会に御聴講ください。

日時 2023年5月13日(土曜日) 午後1時より開始 ※ 所要時間は約3時間

会場 魚山大原寺勝林院 本堂(京都市左京区大原勝林院町187)

聴講料 無料(ただし、勝林院入山志納料300円必要)

申込 不要

出仕(出演)

導師(式文読唱):天納 玄雄(天台宗魚山實光院住職)

式衆(式文読唱):鷹阪 龍哉(真宗高田派龍源寺住職)

雅楽奉奏:でんおん管絃講(令和5年度メンバー)

中川 佳代子(声歌・和琴/邦楽演奏家)

関本 彩子(声歌/大学院音楽研究科修士課程日本音楽研究専攻 令和4年度修了)

荒野 愛子(声歌/大学院音楽研究科修士課程日本音楽研究専攻 令和4年度修了)

Andrea GIOLAI(声歌/ライデン大学日本学科講師)

伊藤 亜希子(龍笛/フルート奏者)

田鍬 智志(箏/日本伝統音楽研究センター准教授)

伊藤 慶佑(琵琶/作曲家)

池内 奏音(笙/大学院音楽研究科修士課程

作曲専攻 令和4年度修了)

企画 田鍬 智志(日本伝統音楽研究センター准教授)

主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

協力 魚山大原寺勝林院、魚山寶泉院、魚山實光院、龍源寺

その他

当講座は通常拝観時間中の勝林院本堂にて行いますので、講式の開始後も会場へは自由に入出可能です。開始時間の30分前までは、座席の確保は御遠慮願います。

当講座のガイドブック(日本伝統音楽研究センターより令和5年3月刊行/消費税込1,000円)を販売します。当日は本書を御覧いただきながらの聴講を推奨します。(御購入いただかなくとも聴講可能です。)

・当日、会場で販売いたします。(販売時間は午後12時30分から開始の予定)

・事前購入を御希望の場合

日本伝統音楽研究センターホームページ内「出版物の入手・閲覧について」の購入申込フォームよりお申し込みください。

日本伝統音楽研究センター公式YouTubeチャンネルにて、田鍬智志准教授による解説を先行公開します。<https://www.youtube.com/watch?v=GcmEniul-kY>

●第62回公開講座「歩く音、歩く人—チンドンと新内流しから考える」

本講座ではチンドンと新内流しを取り上げ、街を移動しながら演奏される音楽にどのような音にかかわる「知」が組み込まれているか、両ジャンルの第一人者を招いてお話し頂きます。

日時 2023年11月3日(金曜日・祝日) 午後12時30分~3時30分

会場 京都市立芸術大学 伝音セミナーーム(京都市下京区下之町57-1、A棟)

講演 林 幸治郎(ちんどん通信社)

重森 三果

聞き手 細川 周平（日本伝統音楽研究センター所長）
定員 40名
受講料 無料
申込 不要
主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
共催 日本伝統音楽研究センター共同研究「酒場と音楽」（代表 齋藤桂）

●第63回公開講座「雅楽の復元研究 ―院政期における打楽器の奏法と演奏速度の考察」

本講座では、近年広まりをみせている「昔の雅楽は演奏テンポが速かった」という説について、実際にはどれくらい速かった可能性があるのか、また「テンポが速い」とは音楽的にどのような意味を持つのか、打楽器の観点から考察します。

日時 2024年1月21日（日曜日）午後2時～午後4時
会場 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム（京都市下京区下之町57-1 A棟1階）
演奏曲：〈現行〉平調 越殿楽 豊栄の舞
〈復元〉越殿楽、千秋楽、甘州、萬歳楽、剣気禪脱、長慶子
講演 | 根本 千聡（日本伝統音楽研究センター特別研究員）
演奏 | 下宮 弘聖（鞆鼓）、熊井戸 啓貴（太鼓）、五十嵐 千絵（鉦鼓）、
上坊 有平（笛）、岡庭 健（箏）、小島 篤美（笙）
定員 40名（事前申込必要）
受講料 1,000円
企画 根本 千聡（日本伝統音楽研究センター特別研究員）
主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
協力 プロジェクト研究「祝言の音・声・音楽―能楽とその周辺」（代表 藤田隆則／京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授）

●第64回公開講座「尺八と七弦琴 ―明治期文人への追憶―」

異なる文化背景を持つ尺八と七弦琴（古琴）。錦風流尺八の譜本に、両者が併記された楽曲が唯一存在します。

どのような意図をもってこのような譜が作成されたのか。どのような音や音楽を想定したのか。本講座は、この譜を基に、思想と文化の狭間で、また江戸と明治の間で生じたこの異文化交流を、音も含めて紐解くことで、これまで知られていなかった世界を垣間見るといふ試みです。

日時 2024年3月22日（金曜日）午後2時～午後5時（午後1時30分開場）
会場 善慧院（東福寺塔頭 普化尺八総本山明暗寺）京都市東山区本町15-797
定員 50名（全席自由／事前申込必要）
受講料 1,000円（資料代を含む）
出仕
（出演）
小島 康敬（国際基督教大学名誉教授）
高橋 博巳（金城学院大学名誉教授）
善養寺 恵介（尺八演奏家、百銭会主宰）
大釋 真佐俊（尺八演奏家）
前川 耕月（明暗蒼龍会会長、明暗尺八・錦風流尺八教授）
武内 恵美子（日本伝統音楽研究センター准教授）
企画 武内 恵美子（日本伝統音楽研究センター准教授）
主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
協力 善慧院

特別国際ワークショップ

●特別国際ワークショップ「APPROACH TO MASKED PLAY 仮面劇への誘い」

舞台演出家のギイ・フレイクス氏とアーティストのブルーノ・ボテラ氏を講師に招き、仮面劇および仮面制作のワークショップを行います。

日時 2023年10月23日(月曜日)から10月26日(木曜日)
午前9時～17時(昼休憩2時間を含む)
*最終日のみ午前9時～12時
(4日間/計21時間)

会場 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム(京都市下京区下之町57-1、A棟)

定員 15名(事前申込制/先着順)
※未就学児童の御入場は御遠慮ください。

参加料 無料

内容 初日に仮面劇に必要な身体動作を習得するための入門レクチャーを行い、2日目から最終日までには仮面劇および仮面制作のワークショップを行います。
※全編英語で進行します。
※23日のレクチャーのみ、チャールズ・ベニー氏(京都国際フランス学園)による日本語通訳がつかます。

講師 ギイ・フレイクス(舞台演出家)
ブルーノ・ボテラ(アーティスト)

コーディネーター アイメン・シャバーン(日本伝統音楽研究センター客員研究員)

主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

連続講座

でんおん連続講座 特別編「祝賀能〈翁〉付〈高砂〉を考える」

日本伝統音楽研究センターでは、移転記念事業のひとつとして行う「祝賀能〈翁〉付〈高砂〉」(5月3日開催予定)の鑑賞に向けた事前講座を、2期にわたって開催します。

〈翁〉付〈高砂〉そして能楽に込められた祝言・祝賀性について理解を深めるための専門性の高い講座です。

開催期間

【前編】「〈翁〉付〈高砂〉の歴史と背景」(全5回)
2024年2月21日(水曜日)～3月27日(水曜日)

【後編】「〈翁〉付〈高砂〉の舞台・演技・演出」(全5回)

2024年4月3日(水曜日)～5月1日(水曜日)

会場 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム(京都市下京区下之町57-1 A棟1階)

定員 前編・後編とも 各40名

受講料 前編・後編とも 各5,000円

伝音ライブ

雅楽や能楽などに代表される日本の伝統音楽だけにとどまらず、さまざまなジャンルの音楽を取り上げ、ゲストによる演奏と教員や研究員の解説により独自の視点へと案内する新企画です。

●第1回：第1回は、江戸端唄・上方唄の三味線のききくらべと、明治大正の世相をうつす添田啞蟬坊(そえだ あぜんぼう)から昭和の愛唱歌までの「うたの流れ」を、ゲストの重森三果氏 他3名による京おんな邦楽ユニット〈やしよめ〉の和楽器の演奏で綴ります。

夕暮れのひとときを新キャンパスでお楽しみください。

日時 | 2024年3月5日(火曜日) 午後6時30分～午後7時30分

会場 | 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム
(〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 A棟1階)

入場料 | 無料

申込 | 不要(先着30名)

ゲスト | 重森三果(唄、三味線)

助演： 滝本ひろ子(笛、鳴り物)、中川佳代子(箏、地歌三味線)、森美和子(笛)

ナビゲーター | 竹内有一(日本伝統音楽研究センター教授)

主催 | 日本伝統音楽研究センター

●第2回：第2回は、椿紅静月氏による津軽三味線の演奏で、代表曲である「津軽三つもの」を中心に唄

と三味線や、箏との合奏によるオリジナル曲など新しい響きをお届けします。夕暮れのひとときを新キャンパスでお楽しみください。

日 時 | 2024年3月18日(月曜日) 午後6時30分~午後7時30分

会 場 | 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム
(〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 A棟1階)

入場料 | 無料

申 込 | 不要(先着30名)

ゲスト | 椿紅 静月(つばいしずき/津軽三味線、唄)

助演: 植野 由美子(箏)

ナビゲーター | 竹内 有一(日本伝統音楽研究センター教授)

主 催 | 日本伝統音楽研究センター

図書室

利用案内

(1) 収蔵資料と目録

- ・研究者、学生、市民に向けて、日本伝統音楽とその関連領域の書籍・視聴覚資料や情報を提供しています。折にふれ、資料の展覧なども行っています。(資料の種別: 図書、展覧会図録、楽譜、逐次刊行物、視聴覚資料、その他日本伝統音楽に関する写本等)
- ・収蔵資料目録は、web サイトにおいてデータベース形式で公開しています。

(2) 図書室および収蔵資料を利用できる方

- ・本学の教職員(非常勤を含む)/学生
- ・調査研究のために利用を必要とされる方

(3) 開室日時と休室日

- ・開室日時 毎週水・木・金曜日 10時~17時
- ・休室日 月・火・土・日曜日、「国民の祝日に関する法律」で定める休日、入学試験期間中・年末年始・棚卸及び保守点検等の業務上の必要期間

※その他、必要に応じて、休室することがあります。

※学外の方の利用は予約制となっています。申込方法等、詳細についてはお尋ねください。

(4) 利用できるサービス

○閲覧

- ・資料は閲覧室でのみご利用いただけます。書庫内資料をご利用になる場合は受付カウンターにお申し込みください。
- ・本学の教職員・学生以外への資料の貸出は行っていません。
- ・複写サービスは行っていません。

○視聴

- ・当室所蔵のCD・DVD・ビデオテープなどを視聴することができます。

○レファレンスサービス

- ・毎週水・木・金曜日 10時~17時

○その他

- ・本学教職員(非常勤講師を含む)及び本学学生のみ室外貸出を行っています。詳しくはweb サイトをご覧ください。

(5) 資料のデジタル化とweb 公開

- ・一部の音源資料・貴重資料・研究成果等は、web サイトにおいて、デジタル化したものを公開しています。
- ・2023年度の図書室について
2023年10月に新キャンパスのA棟1階に移転しました。1階に閲覧室、2階に書庫および貴重資料室があります。閲覧室は以前よりも広くなり、開架で手に取ってご覧いただける資料が増えました(図書: 約7500冊、CD・DVD: 約2500点)。学外の方の利用は予約制となっていますので、申込方法等、詳細についてはお尋ねください。



展観

会場：新研究棟 7 階展示スペース

(1)「〈西村公一文庫紹介展〉近松半二の浄瑠璃本一全署名 62 作品と存疑作を辿る一」〈第三期〉2023 年 4 月 4 日（火）～2023 年 5 月 26 日（金）

内容：当センターで寄託を受けた「西村公一文庫」より、近松半二の署名を認める 62 作品の浄瑠璃本と存疑作について、成立・初演年代順に展示をしました。62 作品を一度に展示するのは困難なため、三期に分けて展示を行い、その第三期を今年度に行いました。

図録をオンラインで公開することで、来校しなくても展示を見ていただけるようにしました。

企画・構成：神津武男（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター客員研究員）

